



ユニセフハウス訪問

報告者 東京都江戸川区立春江中学校 鈴木健之先生・深沢行一先生

ポイント

江戸川区立春江中学校では1月にユニセフ募金を行いました。それに先立ち生徒会の生徒がユニセフハウスを訪問しました。訪問で学んだことを用紙にまとめて中央委員会に報告し、それを受けて各委員会が次の取組みを行い、1月の募金活動につなげました。

図書委員会

ユニセフの本を探してライブラリーニュース（新聞）で紹介する

報道委員会

ほかの委員会が調べたことを昼の放送で流す

保健委員会

貧しい国々の人々のことを調べ、保健室前に貼る



体育委員会

「給食が私を救った」のCMのマラソンランナー《ポール・テルカド選手》の紹介

1年学級委員会

1年廊下前にポスターを貼り、学年便りに載せる

3年学級委員会

学年朝礼で呼びかける

ユニセフハウスを訪問して

- ・展示品は、どれもリアル感があり、現地の人々の悲惨な生活、苦しい日常がひしひしと伝わってきました。同じ大地の上に立つ人間にこれほど差があるのかと驚きました。
- ・私が思った以上に世界には紛争がある国がたくさんあり、しかも子どもたちも巻き込まれているなんてとても衝撃的でした。
- ・ユニセフの行っている一つ一つの行動にすごく感動しました。中学生のやれることなどほんの少しかもしれません。でも、ユニセフの活動の力になれるよう努力します。
- ・紛争に巻き込まれる、安全な水が飲めない、学校に行けない…。日本ではこんなことは絶対にありえない。地球上のいたるところで、命を落とす子供、心が傷ついてしまう子供達がいるということを知りました。
- ・私達のした募金がどんなことに使われているかを詳しく知ることができ、もっと私達にできることを真剣に考えようと思いました。